

公益財団法人ポエック里海財団

平成 30 年度 事業報告書

(平成 30 年 12 月 1 日から令和元年 11 月 30 日)

当財団は、ポエック株式会社が CSR の一環として平成 20 年から取り組んでいる小佐木島の再生プロジェクト事業（小鷺島バイオアイル計画）を発端とし、広く瀬戸内海の里海の再生及び保護を目指し、不特定多数の者の利益の増進を目的としたものを実施する事業体として、前身である一般財団法人ポエック里海財団が平成 23 年 12 月に設立した。

当財団は、「持続可能な経済の実現にむけて、私たちが育む自然環境、歴史、文化の保護に貢献するとともに、広く一般に瀬戸内海の里海文化への理解と関心を芸術的観点から醸成し、環境再生の研究への助成と人材育成を行うことで社会に貢献する」ことを目的に掲げている。

以下、平成 30 年度に実現した実施事業の概要について報告する。

財団の中心となる事業は、「離島再生事業（小鷺島バイオアイル計画）」、「里海環境を保護する人材育成事業」、「情報公開・普及事業」であり、当財団平成 30 年度期の活動実績としては、下記のとおりである。

1. 植樹活動、清掃活動

平成 31 年 4 月 6 日（土）にボランティア活動として、総勢 124 名で桜街道再生植樹、清掃ボランティア活動を実施した。

本活動は、限界集落化した小佐木島において、古民家・耕作放棄地の再生及び島外からの桜並木再生植樹・清掃ボランティア、里海文化に触れる島内ウォーキングを通して、里海文化の振興活動を実施することにより、島外からの人の誘致及び島民との交流による地域活性化を目指すことを目的としている。

小佐木島を広く一般の方にも知っていただくために、当財団のホームページにて 10 名程の一般公募を行った。当日は桜の苗 20 本、杏子の苗 10 本を植樹したのち、島民の方との親睦を深めるべく、桜の木の下で食事会を行った。小佐木島をより美しく、また多くの方に知っていただけるよう、植樹活動は、今後も継続しておこなっていく方針である。

2. 航海の安全を願う灯台を巡るクルーズ

平成 31 年 3 月 9 日（土）に、一般社団法人三原観光協会主催の灯台巡りクルーズに協賛した。

航海の安全を願う灯台を巡るクルーズは、小佐木島、百貫島、岩城島、大下島等の瀬戸

内海にある灯台、灯標等、計7か所を巡るクルーズツアーで、当日の参加者は37名であった。当財団は小佐木島にてアート作品として改修された古民家（BH2）の紹介を行い、小佐木島の魅力を一般の方に紹介する場となった。

3. 小佐木島展—島の懐に抱かれる—

令和元年10月19日（土）から10月27日（日）までの9日間、小佐木島で日本画家の寺川成美氏の作品を中心とした展示会を実施した。

同氏が改修古民家BH2の学芸員として小佐木島に移住してから3年が経過し、これまでに制作した作品及びこの展示会のために新たに制作した作品等15点を展示した。

展示会の運営方法として、小佐木島にゆかりのある方を中心とした小佐木島展実行委員会を立ち上げ、当財団と連携をしながら三原市後援のもと展示会を実施した。

展示会の開催期間中には、合計で204名の方が訪れ、小佐木島を広く一般の方に紹介する場となった。